

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
AM45Z007		生物I (Biology I)					基礎分野科目 自然・科学		対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
選択	1	1	医学部先進医療科学科	前期	木4	日本語			単独							
担当教員	氏名 池田 八果穂 E-mail yatukaho@oita-u.ac.jp 内線 5609															
授業の概要	人間は生物の一員であり、また、人間は多種多様な生物との相互関係の中で生活している。従って、人間を理解するうえで生物学の知識を深めることは不可欠である。本講義では様々な生命現象について学び、生物学の基礎的知識と、生物学を通して人間を考える視点を身につけることを目標とする。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	ヒトなど動物の発生過程について説明できる。															
目標2	発生過程における遺伝子発現の仕組みについて説明できる。															
目標3	遺伝子と進化の関係を説明できる。															
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							10									
授業の内容																
1	体細胞分裂															
2	減数分裂															
3	配偶子形成															
4	卵割・胞胚形成															
5	原腸胚・神経胚・器官形成															
6	無脊椎動物の発生															
7	脊椎動物の発生															
8	細胞の分化															
9	発生と遺伝子															
10	卵極性遺伝子と分節遺伝子															
11	Hox遺伝子															
12	脊椎動物の発生と遺伝子															
13	発生と進化															
14	遺伝子と進化の仕組み															
15	まとめ															
ラーニング オブ ゴール	A:知識の定着・確認	実物の標本を観察するなど授業中に学生に意見や説明を求める場面を設ける。				工 夫 そ の 他 の	画像や動画の活用、LMS(Moodle)の活用									
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	参考書や高校の教科書を利用して基礎的知識を学習する(8h)。														
	事後学修	参考書や高校の教科書を利用して復習する(25h)。Moodleで配布される資料を参考にする。														
	想定時間合計	33														
教科書	教科書は指定しない。 授業の際に資料を配布する。															
参考書	浅島誠(著)、駒伸二(著)『動物の発生と分化』裳華房、2014年、ISBN 9784785358495 Scott F. Gilbert(著)『ギルバート発生生物学』MEDSi、2015年、ISBN 9784895928052 S. Mader(著)、藤原晴彦(監修)『マダー生物学』東京化学同人、2021年、ISBN 9784807909698															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	小テスト	20%										
	期末テスト	80%										
注意事項												
備考												
リンク	授業の詳細な内容は、以下のページ (Moodle) を参照すること。 URL https://lms.app.oita-u.ac.jp/											